

報道関係各位

「食から日本を考える。」

NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023」を開催！

～「丸の内から、ニッポンフードシフト。」～

農林水産省は、食と農のつながりの深化に着目した国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

9月23日(土曜日)・24日(日曜日)の2日間、東京丸の内エリア(丸ビル1階マルキューブ、丸の内仲通り)において、農林漁業者・食品事業者及び消費者が、日本の食や農をめぐる事情や課題、目指す未来について、ともに考えるきっかけとするイベント「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023」を開催します。

食から日本を考える。

NIPPON
FOOD
SHIFT FES.

東京



【NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023 ロゴとサイト画面】

1. 開催趣旨

我が国では食の外部化・簡便化が進むなかで、食と農との距離が遠のき、農業や農村を身近に感じるものが少なくなってきました。

農林水産省は、日本の食と農を取り巻く課題を身近なものとして考えてもらうために、消費者と生産者や事業者とが出会い、交わることで、食への新たな気づきや発見を促し、意識や行動を変えていくためのきっかけづくりを目指しています。

この度、東京丸の内エリア（丸ビル1階マルキューブ、丸の内仲通り）において、日本の食や農が抱える課題や目指す未来について、ともに考えるきっかけとするイベント「NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023」を開催します。

2. 開催日程及び場所

■開催日程：令和5年9月23日（土曜日）11時から17時まで
24日（日曜日）11時から17時まで

■開催場所：東京丸の内エリア（丸ビル1階マルキューブ・丸の内仲通り）

3. 主なイベント内容

Z世代による「食」についてのトークセッション、農家エッセイ・コミックのパネル展示、日本全国の生産者たちがつくる農産物を扱ったマルシェやキッチンカーの出店等、多彩な展示や催しを行います。

【主なステージプログラム（マルキューブ）】

- ・「食」と「農」の未来を考える、オープニングトークセッション
- ・農業を学ぶ学生とデザインを学ぶ学生による異色のコラボトークセッション～それぞれの視点から「食」の課題と解決のためのアイデア出し～
- ・ニッポンフードシフトの新企画「餃子から日本を考える」に関連するトークコーナー～餃子の王様と呼ばれるパラダイス山元氏による餃子の美味しい作り方、食べ方の紹介～

（参考）

ニッポンフードシフト「餃子から日本を考える」ウェブサイト

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/gyoza/>

- ・食や農林水産業について対話をしながら相互に学んでいくコミュニティ「霞ヶ関ばたけ」開催 ～食から日本を考える～えらんでゆたかに～ほか、推進パートナー企業の活動紹介や、丸の内仲通り出店者紹介、テレビ番組の収録等、様々なトークセッションを実施します。

【展示（マルキューブ）】

マンガ家になる前に北海道で実家の酪農・畑作業に従事していた荒川 弘先生の農家エッセイ・コミック『百姓貴族』（新書館・隔月刊ウイングス連載中）と東京農業大学、農林水産省がコラボしたパネル展示を行います。

「捨てられる作物」「牛の話」「うんこは宝！」等、持続可能な農業や環境、いのちに関わる話を楽しくご紹介します。



協力：東京農業大学「食と農」の博物館
©荒川 弘／新書館

【マルシェとキッチンカー（丸の内仲通り）】

食の未来を見据えて実際に行動に移している生産者との会話を楽しみながら、彩り豊かで新鮮な食材が並んだマルシェと、その食材のおいしさを最大限に引き出すキッチンカーを出店します。関西で人気のマルシェやニッポンフードシフトオリジナル商品を販売するキッチンカー等が東京丸の内内で収穫の秋を演出します。

詳細は別添資料、または 9 月 11 日(月曜日)11 時に公開のニッポンフードシフト公式サイト「NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023」をご覧ください。

URL：<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/fes/tokyo20230923/>



※本イベントは、天候等により開催内容が変更になる場合があります。

4. 添付資料

NIPPON FOOD SHIFT FES.東京 2023 詳細資料



お問合せ先

大臣官房政策課食料安全保障室
担当者：奥泉、宮田、足立
代表：03-3502-8111（内線 3805）
ダイヤルイン：03-6744-2376